

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立西新井第一小学校 校長 武藤 浩司

1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9570 冊（蔵書基準冊数 7960 冊）／蔵書率 120.2%（前年度 116.8%）									
	② 新規購入図書 436 冊 ／ 廃棄図書 169 冊 ／ 増減冊数 267 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	1.5%	1.3%	7.3%	6.2%	10.6%	4.1%	2.6%	7.5%	2.7%	56.2%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、中休み、昼休み（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 20.25 冊（前年度：25.75冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 63.7%（前年度：78.6%）									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

- ① 図書支援員による本の展示ブースの充実を図り、児童の読書意欲につながった。国語の授業と連動させ、調べ学習などからは、幅広い知識を身に付けさせることができた。
- ② 国語等の授業と連動させ、目的に応じた情報を選んで課題解決していく調べ学習では、幅広い知識を身に付けさせることができた。
- ③ 本の読み聞かせや、おすすめ本のポップ製作等を通して、親しみをもちながら本の楽しさに触れさせることにつながった。
- ④ 新刊本の購入、除籍作業後の本のクラスへの配架を通し、本に触れる機会を少しでも増やせるようにできた。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	①各クラス週1回の読書等の授業を学校図書館にて行うことができた。 ②読書旬間はできなかったが、年間一人あたり34冊以上の本を読めた。 ③学校図書館オリエンテーションを年度初めに実施した。	

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。
目標達成状況	
①各クラス週1回の読書等の授業を学校図書館にて行うことができた。 ②読書旬間はできなかったが、年間一人当たり33冊以上の本を読めた。	

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が65%以上
目標達成状況	
①各クラス月3～4回の読書等の授業を学校図書館にて行うことができた。 ②読書旬間はできなかったが、年間一人当たり19冊以上の本を読めた。 ③調べる学習コンクールに約80%が参加できた。	

第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上
目標達成状況	
①各クラス月3～4回の読書等の授業を学校図書館にて行うことができた。 ②読書旬間はできなかったが、年間一人当たり26冊以上の本を読めた。 ③調べる学習コンクールに約80%が参加できた。	

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり25冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上
目標達成状況	
①各クラス2か月に1回程度の読書等の授業を学校図書館にて行うことができた。 ②読書旬間はできなかったが、年間一人あたり10冊以上の本を読めた。 ③参加形態が変わり、調べる学習コンクールの参加は10点(約15%)にとどまった。	

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり25冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上
目標達成状況	
①各クラス2か月に1回程度の読書等の授業を学校図書館にて行うことができた。 ②読書旬間はできなかったが、年間一人あたり3冊以上の本を読めた。 ③参加形態が変わり、調べる学習コンクールの参加は3点(約5%)にとどまった。	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

蔵書数が少ない分野を中心に新刊本の購入を行うことで、少しずつ図書室内の本の分野にバランス取れてきた。

教員のおすすめ本のポップを作ることで、本への興味をさらにもたせることにつながった。

【学校図書館支援員との連携・協働】

学校図書館支援員に毎月図書室内の展示物を変えてもらった。季節の物、おすすめ本、新刊本、〇〇シリーズといったブースを作ることで、更に本への興味が高まった。

【その他】

調べる学習コンクール参加について、本校では3・4年生の参加を推奨した。その為、高学年の参加児童が少なかった。来年度を視野に入れて考えた時、長期休業中の他の課題との兼ね合いも考え、高学年の参加について考慮していく必要がある。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

- ①寄贈本の登録は随時行った。また、新規購入図書に関しては、8月までに概ねの購入を終え、貸し出し対応を行った。
- ②感染症予防対策により、今年度の図書ボランティア募集は行わなかった。（今後も検討していく必要がある。）
- ③廃棄図書は8月までの段階で処理を終えた。また、廃棄対象になった本を、学級図書として配架することで活用した。

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

感染症予防対策が続いているが、学校の教育活動で、いろいろな工夫がされており、展示会をオンラインで動画限定公開したり、授業参観をライブ配信したりしている。コロナ禍2年目にしてずいぶんの方策の選択肢も増えてきた。学校が手探りながら、可能性を止めず積極的に教育活動を進めてくれていることを評価する。

その活動にならい、回数が減ってしまった、学校図書館支援員や教職員の読み語りや書籍の紹介などもリモートで行うことが可能だろうと思うので、検討していただけるとありがたい。

7 今後の展望 —課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて—

- ①新規購入図書に関しては、来年度も8月までに概ねの購入を終えるとともに、貸し出しが円滑にできるようにする。
- ②感染症予防対策を踏まえ、図書ボランティアの募集・活動について検討していく。
- ③廃棄本の学級図書は、痛みがひどい場合がある。定期的に状態確認・入れ替えをしていく。
- ④感染症予防対策の結果、今年度は読書旬間を行うことができなかった。来年度どうしていかも踏まえ、検討していく。